

第5章

COLLAGREEの議論データを用いた 評価実験

5.1 序言

本章では，COLLAGREE上で行われた議論のデータを対象に提案手法の評価実験を行う．評価実験では同一のテーマを扱う複数の議論を用意し，提案手法は??で述べた手法を用い，比較手法は??で述べた関連研究を用いる．本章の構成を以下に示す．

5.2 使用データ

5.2.1 議論データ

議論データは COLLAGREE 上で行われた別の実験での議論のものを使用する。
データの概要を以下に示す。

【実験概要】

- 参加者：95 名
- 参加者属性：学生および社会人
- 参加者グループ：
- グループ人数：2 3 名
- 実施期間：90 分前後
- 投稿数：件
- アクセス数：2385
- 議論テーマ：外国人観光客向けの日本旅行プランの決定
- 議論テーマ説明文：近年，ネット上のコミュニケーションツールは日々進化しており，進化に伴って必要とされるネットリテラシーも変化しています。ここでは，近年求められるネットリテラシーについて，事例やニュースをもとに考え，若い世代にどのようなネットリテラシー教育を施すべきなのかを考察しましょう。

- 調査方法：実験終了後，参加者とファシリテータにアンケートを行う．また，議論ツリーの閲覧ログを解析する．
- ファシリテータ：日本ファシリテーション協会のファシリテータ 1 名（A および B グループ両方のファシリテートを行う）

5.3 結言